

2022年度 第1回 ピットフォール研究専門委員会次第

日 時：2022年9月12日(月)19:00～20:00

場 所：ZoomによるWeb会議

出席者(敬称略)：中野恵一(北海道大学病院)、長田 誠(群馬パース大学)、土筆智晶(北里大学病院)、三好雅士(徳島大学病院)、阿部雅仁(栄研化学株式会社)、小島和茂(日本電子株式会社)、阿部正樹(東京慈恵会医科大学附属第三病院)、脇 雅宏(ニッポーボーメディカル株式会社)、細羽恵美子(東京女子医科大学病院)、濱田悦子(文京学院大学)、上田一仁(関西医療大学)、川崎健治(千葉大学医学部附属病院)、菅野光俊(福島県立医科大学)

欠席者(敬称略)：清宮正徳(国際医療福祉大学)、藤田清貴(群馬パース大学)

【報告、確認事項】

1. 脇 雅宏委員(ニッポーボーメディカル株式会社)自己紹介
2. 相談窓口活動進捗報告(清宮委員：事後報告)
相談件数は8件、うち2件は今回発表、3件が一旦終了、2件が進行中、1件が詳細なデータ待ち
3. 2022年ピットフォール研究専門委員会シンポジウム進捗について(細羽委員、小島委員)【資料1】
4. 2022年臨床化学会シンポジウム2のお知らせ(中野委員)
「生化学自動分析装置における異常反応の検出とその取り組み」
9月30日(金)15:30～17:30 第3会場
5. 2022年日本臨床検査医学会の共催シンポジウム進捗について(菅野)【資料2】

【審議事項】

1. 委員長・副委員長の交代について
委員長・副委員長の任期が2023年3月までであり、
次期委員長：三好雅士委員、副委員長：中野恵一委員 承認された。
2. 2023年ピットフォール研究専門委員会シンポジウムについて
担当者2名：脇 雅宏委員、菅野 に決定した
シンポジウムの内容については、新委員長・副委員長と相談して決める
過去の担当
2022年：細羽恵美子、小島和茂、2021年：土筆智晶、阿部雅仁、2020年：上田一仁、中野恵一、2019年：長田 誠、三好雅士、2018年：川崎健治、濱田悦子、2017年：阿部正樹、清宮正徳
3. ピットフォール症例解析マニュアルについて(担当：中野委員)【資料3】
解析マニュアルの確認と修正、およびタイトル案を9月16日までに中野委員に送る。
ホームページへ掲載は、学術集会後とする。ただし臨床化学への投稿の有無や仕方(編集者への手紙、プロジェクト報告)等を確認後に時期は調整する。
4. ピットフォール相談窓口、相談事例の担当責任者制について
相談事例について、できるだけ短期間に相談者へ適切なフィードバックを行うため、相談事例ごとに順番に担当責任者を決め対応を行うようにすることに決定した。

5. 2022年ピットフォール研究専門委員会シンポジウムの非会員への講演料、旅費支給について
非会員 医療生協わたり病院 *山田 太一*先生「ALP-IFCC法で異常反応を呈した一例」
福島-富山 新幹線指定席往復：4万円、講演料：5千円を支払うことが承認された。
6. 「ピットフォール研究専門委員会からの挑戦状」の具体案について（担当：濱田委員）
今年度中に1回行うことになった。
7. その他